

Globe Sports Dome(岡山県津山市)

ガラスハウス利活用事業

作成時点：令和 6 年12月

スポーツ施設 ▶ スポーツ施設

基本情報



写真出所：津山市

位置図

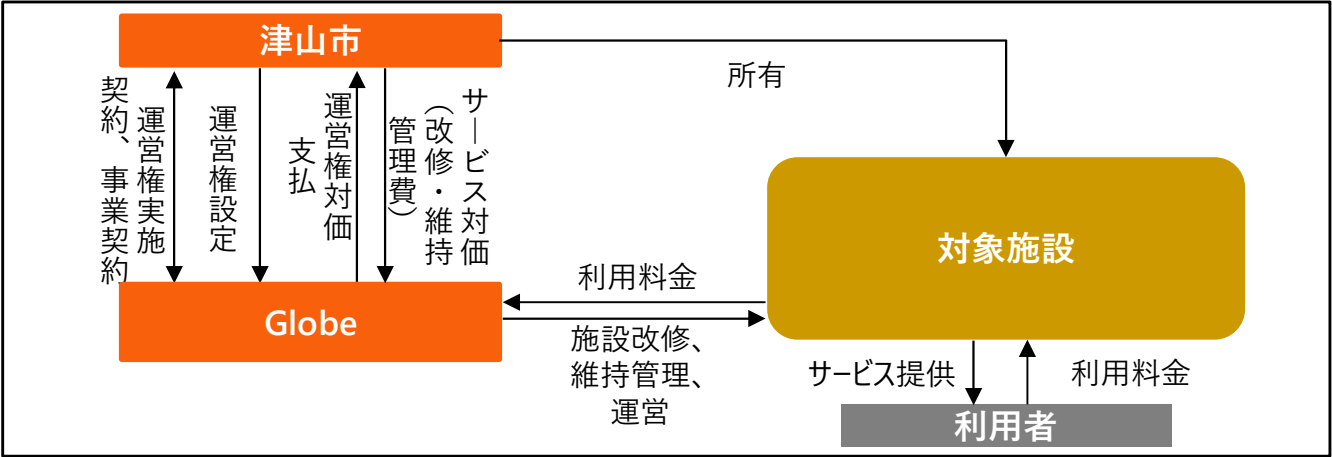
岡山県津山市大田512



出所：地理院地図を引用

事業主体	岡山県津山市（人口：95,142人 ※令和 6 年11月現在）
事業手法	RO＋コンセッション方式
民間事業者の業務内容	- 施設改修業務（設計、工事、工事監理） - 運営業務（運営、利用促進、料金収受等） - 維持管理業務（維持管理、保全、点検等）
事業期間	約10年間（令和 4 年 5 月～令和14年 3 月）
事業費等	- 施設改修・維持管理費 265百万円 - 運営権対価 約27百万円（税抜・総額） ※当初 3 年間は無償、4 年目以降、運営事業者が市に支払う（年払い）
活用した補助金	なし
事業者	株式会社Globe（市内企業）
事業経緯	- 令和 3 年 3 月 実施方針公表 - 令和 3 年 4 月 公募開始 - 令和 3 年 6 月 事業者選定 - 令和 3 年11月 契約（改修・維持管理）締結 - 令和 4 年 3 月 契約（運営権）締結 - 令和 4 年 5 月 供用開始

事業スキーム図



掲載内容
に関する
問合せ先

津山市 総務部 財産活用課
TEL：0868-32-2122
Email：zaisan@city.tsuyama.lg.jp

Globe Sports Dome(岡山県津山市)

作成時点：令和6年12月

スポーツ施設

スポーツ施設

検討経緯

- 通年型の温水レジャープールであったガラスハウスを、民間事業者の自由な発想により、独立採算のスポーツ施設への転換を図った事例である。
- 指定管理で運営していた当時、年間1億円を超える指定管理料がかかっており、修繕費もかさむ一方だったため、市民ワークショップや庁内検討を通じ営業を終了することとした。
- 今後の方針について民間事業者サウンディングを行ったところ、プール以外での活用の可能性に関する意見が得られたことから、地域の活性化・賑わい創出、交流人口増加や観光振興を目的として、利活用することとした。

取組のポイント

- 市内外から親しまれているガラスハウスのガラスドームの外観は維持しつつ、既存のプール機能の存続は前提にしないものとして公募を実施した。
- 契約満了時の原状回復は求めないことや、公の施設にこだわらないことなど、事業者の自由な提案のハードルを下げている。
- 施設の不具合箇所の修繕・更新は、上限価格の範囲内で市が費用を負担し、運営権設定後の修繕・更新等は全て民間事業者が実施することとしている。

得られた効果

- 公募の結果、リズムジャンプという独自のトレーニング手法を導入した総合的な健康増進施設とし、主に子ども向けプログラムなどの集客コンテンツを導入する提案が得られた。プールの大部分が埋められ、バスケット・バレーボールコート、ボルタリング、50mの直線トラック、人工芝エリア、屋外プール、カフェなどが整備された。
- 運営権対価は0円以上を条件としたところ、約27百万円とする提案が得られた。

■ 利活用前



■ 利活用後



写真出所：津山市、株式会社Globe